

「フィールドワーク GIS ステーション」の開発と利用

Development and utilization of Fieldwork GIS Station

駒木 伸比古 [1]; 村山 祐司 [2]

Nobuhiko Komaki[1]; Yuji Murayama[2]

[1] 筑波大・生命; [2] 筑波大・生命環境

[1] Life and Environmental Sciences, Univ. of Tsukuba; [2] Univ. Tsukuba

<http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/sis/>

フィールドワークは地理学における最も基本的な調査のひとつである。通常、フィールドワークを行う際には、事前に調査方法や調査項目を決め、ベースマップを用意する。しかし、用意した地図データと現実の状況にはしばしば食い違いがみられる。たとえば、新しい道路の建設、建物の取り壊し、大規模開発による区画の変更などはよくあることである。このような状況では、調査者は事前に用意した地図データを編集し直さないと、適切なデータは取得できない。フィールドワークにおける最も重要な考えは、「現場で思考する」ことである。

調査を行うにあたって、一昔前は紙地図やノートが使われていたが、最近ではモバイルパソコンや PDA、GPS などが使われるようになってきている。この利点として、得られたデータをすぐに分析できることや、データの整理が容易であることなどが挙げられる。しかし、こうしたデジタル機器を用いた調査は、地図データの編集や調査項目の追加など、「現場での変更」にはあまり対応していないケースが多かった。

こうしたフィールドワークにおける諸問題を解決することをめざして、「フィールドワーク GIS ステーション」は開発された。現場でデジタル地図の修正、あるいはデータのフォーマットや属性を編集できるよう工夫が凝らされている。このソフトウェアは地図作成やオーバーレイ、距離測定などの GIS の基本機能だけでなく、図形データの作成や修正、属性データの追加や編集などの機能、インターネットを通じた情報の収集機能などを備えている。

このソフトウェアは無償であり、専用ウェブページから誰でも自由にこのソフトウェアをダウンロードすることができる。GIS および人文地理学におけるフィールドワーク作業の効率化と作成データの高精度化に寄与することが期待される。